

陸閘の操作訓練などをを行う水防団員ら＝岐阜市大宮町



## 洪水から岐阜の街守る

# 長良橋、陸閘操作訓練

## 水防団員ら入念に確認

梅雨や台風で河川が増水しやすい出水期を前に、洪

じることになっている。

水時に堤防と同じ役割を果たす陸閘の操作訓練や点検が6日深夜から7日未明にかけ、岐阜市の長良橋両岸の国道256号で行われた。

陸閘は長良橋の南北に設置されている。北側の長良

が一定の水位に達すると閉じることになっている。

陸閘は1門で高さ3・8メートル。2018年7月の西日本豪雨時に14年ぶりに閉鎖した南側の大宮陸閘は2門で、いずれも高さ3・17メートル、長さ25メートル。長良川

訓練には金華と長良西水防団員のほか、国土交通省や岐阜市の職員ら約150人が参加。6日午後11時30分ごろから国道256号を通行止めにして陸閘を閉め、水漏れの隙間がないかなどを入念に確かめた。

大宮陸閘の訓練に参加した金華水防団の倉地信也団長(61)は「年に1度の訓練なので、皆が意識を高く持つてやってくれている」と話した。

(村井樹)